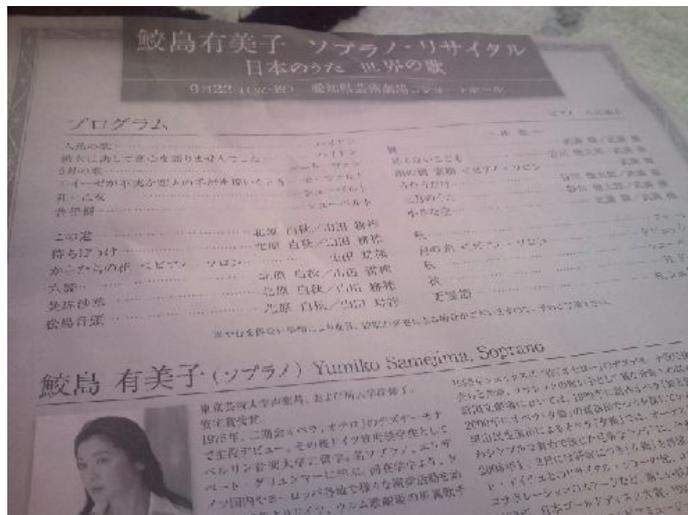


演奏会2つ模様

- 2009.09.25 Friday
- 14:46



この連休後半は鮫島有美子コンサートとベース早澤さんが参加された
グランフォニックの演奏会と芸術の秋を堪能しました。

鮫島さんは紫のスカートに黒の色っぽい衣装で古典派作曲家の曲から
武満徹の曲まで、そしてピアニストの小川典子さんのソロも入っての
さわやかな演奏会。

鮫島さんの日本歌曲はよく聴いてましたが、ドイツリートは初めて。
曲の合間のおしゃべりのお声が歌っているようで、言葉が美しい！
小川さんのピアノの音にも魅了されました。



翌日のグランフォニックのステージは1ステがミュージカル「レミゼラブル」
演出もあり皆さん演技も入り、表情がいきいきして20歳若返っておられた。

次回は、ぜひ！男子大学生の演奏でも聴いてみたいt！（笑）

2ステは Tosti の歌曲を男声合唱で聴けました。

ピアノ伴奏も大学の恐れ多い大先輩、早瀬洋子さん。相変わらずお上手！Tosti を勉強してた1・2年生のころを思い

出し、心の中で一緒に歌ってました・・・。

3ステは実力発揮の『水のいのち』 指揮はコバケンさん。

独特の解釈にびっくりはしたものの、歌以上に指揮に見入ったステージでした。

そして感動したのはアンコール2曲。

1曲目はコバケンさんの高校時代作曲された曲を氏自身の伴奏で、2曲目は『鈴かけの小みち』を団員に混じてソロでご披露。

これがまた素敵なテノール。

「こんな遊び心を持った指揮者っていいわ～」と隣の恵美子さんとつぶやく。

グランフォニックの皆様、素敵な経験できましたね！

指揮者といえば、私が長い？合唱生活の中で出会った方々の怖おもしろいお話次の機会に書きますね。

ボイストレーニング

- 2009.09.20 Sunday
- 09:44



我が団では毎月1回 ソプラノ歌手 毛利美奈子先生にボイストレーニングをお願いしています。

写真は先月末の男声のみのボイトレ風景。

そして昨夜はブラームス「梢になげく風」を使ってレッスンしていただきました。

各単語の発音より流れを耳で感じ取って歌うこと。

カタカナ読みにならないように。

名詞・副詞など どの単語を強調して歌うのか、

何度も読む必要があること実感したレッスンでした。

(これは良寛相聞4番の練習でも感じました。特に4番は語りというか謡いのような要素が多いからこの練習は大切かも)ドイツ語の曲初挑戦の団員にとっては難しいことだけど、2時間の特訓で最後は少し様になってきました。

やっぱりお願いしてよかったですね！

これを維持することが目下の我が団の課題。

「瞬間湯沸かし器」はがんばらねば～。👍

さてっと・・・

神谷先生不在の急遽3時間に及ぶ練習、ずっとピアノに座ってたカメラ小僧。

実は実は。。。少しは歌う側にも回りたいかったな～。

日ごろ ピアノばかり触っているから

1週間に1度土曜日に声を出すのがストレス解消のはずなんだけど・・・。

う～～ん。ちょっと👱な私ですが、明後日は鮫島有美子さんのコンサートへ行ってきます。抽選に当たったので(笑)
生はお初なので楽しみです。レポートはいずれ・・・。

思い、想い

- 2009.09.13 Sunday
- 09:51



先週、瀬戸合唱フェスティバルがあり、その後、

懇親会が開かれ、うなぎの寝床の場は

大いに盛り上がりました。

普段、話せない人同士が話せるこうした会が

きっかけで我が団の魅力は増します。

話すことで「人を思う」気持ちが

より一層膨らむんでしょうね。

先日、テナーの先輩 S さんから良寛さんと貞心尼の短歌の詳細の資料をいただき、読みました。

二人のそれぞれを想う気持ちがあふれた相聞歌です。

皆さんにも要約してお話できれば・・・と少しずつ準備しています。

きっと歌にも生きてくること間違いなしです。

幸い、旭には人生の酸いも甘いも経験された方が多くいらっしゃる。

声の技術は最上級でなくても、その人生経験から言葉の魅力が歌の魅力が引き出せると私は思っています。

巷の広告で好きなのに「公共広告機構」のCMがあります。

今流れているCMがとても心に響くのでご紹介します。



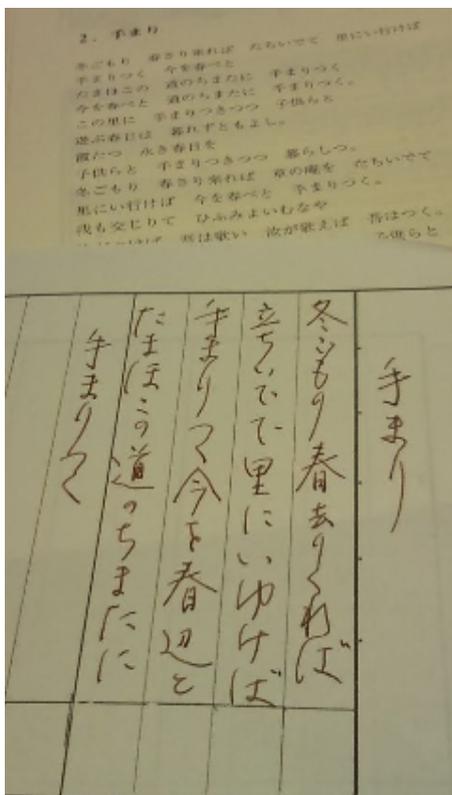
石川県の小学校では「赤ちゃん登校日」なるものがあり、子どもたちが赤ちゃんの世話をするのです。

赤ちゃんとのふれあいを通して、人との関わり方を学んでいく体験学習。

実際の放送は[ここ](#)でどうぞ。現代人にもっとも必要な心の肥やしかもしれません。

演奏会が近づくと悩むのだ

- 2009.09.04 Friday
- 22:38



明後日は瀬戸合唱フェスティバルがあり、旭は良寛相聞より

「手まり」「君や忘る道」を歌う。

演奏会が近づくと決まって団員が悩み、先生からも「いい加減にしや〜」と指摘がある。

毎回の自分たちの演奏会も悩みつつも、全ステージ暗譜で臨むからお客様のアンケートにお褒めの言葉をいただきえへへ〜と喜び、苦しみも吹っ飛ぶ(笑)

当たり前だけど日本語でも楽譜には横書き。

良寛相聞の楽譜は後ろの歌詞のページも横書き。

書きながら覚える私には何だか違和感があり、いつも日本語の曲は縦書きにして書いている。

特に今回は良寛さんの時代に戻り、ちょっと崩して筆で書いている気持ちになろう！と書いてみたら、気のせいかな、手まりをつく子どもと良寛さんが頭の中に浮かんでくるのだ。

しかし。。。。

万年筆で、しかも使っているインクが「シェークスピア」という名前の外国モンでは徹底していないかも(；_；)

ひさ〜しぶりに硯出しますか……？

皆さんにも「縦書き」お勧めです。

訂正 「立ちいでて」と書いてしまったけど立ってどうする……。

正解は「発ち出でて」でしょうか？楽譜はかなになってます。

蛇足 「君や〜」の「しばの庵」のしばが時々「千葉の庵」に聞こえて

しまうのは私だけ？

連日耳にするニュース影響？(のりPの千葉の別荘……)

子音の練習足りないのか……これも悩むのだ。